

後援会ニュース

2025年6月号(部内資料)

発行 日本共産党かすみがうら市後援会

〒315-0053 かすみがうら市稲吉東 4-5-18

TEL029(834)7366 FAX 029(834)7367

―物価高からくらし守る― いますぐ 消費税の減税 を



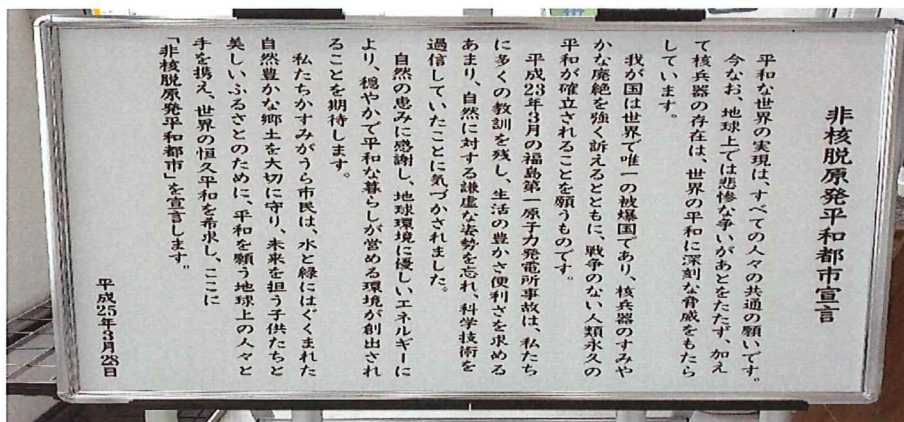
国政の大争点となっている消費税減税。自民党の一部までが「消費税減税が必要だ」と言い出すなど減税を求める国民世論が政治を動かしています。問題なのは、どこまで減税するか、そして財源はどうするかです。食料品だけとか時限的ではなく、日本共産党は一律5%の減税を提案しています。平均的なサラリーマン世帯で年間12万円の減税になります。

財源は、年間11兆円にも上る大企業優遇税制や年間8兆7千億円にも上る軍事費にメスをいければ5%減税の財源はできます。年金や社会保障を減らしたり、赤字国債＝借金をしなくてもいいのです。

今こそ暮らしを押しつぶすアメリカ言いなりの大軍拡をやめて、財界・大企業優先を正し、国民のくらし第一のあたらしい政治をめざす大運動をgoいっしょに進めましょう。

まちの話題

今年は、戦後・被爆80年の年、また昨年日本被団協のノーベル平和賞受賞しました。今もウクライナ、ガザで悲惨な戦争が続いています。千代田ショッピングモールにできた市民窓口センター入り口に掲げられた「脱原発平和都市宣言文」です。



7月 参院選

参議院で日本共産党は、今11議席あるため企業・団体献金禁止法案など提出することができ、院内交渉会派(10議席以上)として本会議で質問もできます。今回改選されるのは、比例代表4議席、選挙区3議席。引きつづき国会活動の力を維持・前進させるために比例代表5議席が絶対の必要です。

比例5人の全員当選・茨城選挙区勝利へ
お知り合いに日本共産党の支持をひろげてください



茨城選挙区 高橋誠一郎さん
かすみがうら市で街頭宣伝

6月11日（水）2番目に登壇

予定時間は午後2時～

佐藤議員の一般質問



令和7年かすみがうら市議会第2回定例会は6月3日から開催されます。一般質問は、6月11日（水）～12日（木）に行われます。佐藤ふみお議員は11日（水）の2番目に登壇します。予定時間は午後2時頃になります。是非傍聴に行きましょう。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1. 学校給食費無償化や補聴器購入助成に係る請願採択に対する市長の基本的認識について	・これまで、学校給食費無償化や高齢者への補聴器購入助成について議会では全会一致で採択された。採択された請願に対する市長の基本的認識を伺います。
2. 住宅リフォーム助成の減額について	・住宅リフォーム助成金は、これまで300万円から始まり500万円、800万円と拡充されてきた。今年度は400万円に減額したが、その理由について、伺います。
3. 水道事業の広域化について	・茨城県が計画している『1県1水道』は、無駄な水源開発である霞ヶ浦導水事業の負担金や県水の完全受水のための工事等を考えると単独での経営が有利であることは明らかであり、加入すべきではない。いずれにしても広域となれば災害時に対応ができません。今回は、広域に被害を及ぼす大地震への対応及び水道事業会計と市議会及び県との関連について、伺います。
4. 不登校問題への対応について	・子どもの不登校は、小中学校で30万人を超えた。不登校問題の解決には、子どもの気持ちを大切にしながら取り組むことが必要と考えるが、本市の対応について、伺います。
5. 入札制度の改革について	・公契約条例の制定について、伺います。公契約条例とは、自治体発注の公共工事などに従事する労働者の賃金に下限額を設定し、自治体や受注業者側が下限額以上の賃金を保障する責任について明確にするもの。重層下請け構造の建設業界では、大手の元請け事業者などによる“中抜き・ピンはね”が横行。労働者の賃金が不当に抑えられているとして、条例制定を求める声が強まっています。答弁を求めます。



後援会ニュース

号 外
25.5.30

発行：日本共産党かすみがうら市後援会
TEL 029 (834) 7366 FAX 029 (834) 7367

資 料 内